

# 41 極低温の科学と技術

<p>概要</p>	<p>-196℃の液体窒素は小中高校の理科やイベント等でも用いられ、身近なものとなってきました。しかし-269℃の液体ヘリウムとなると、なかなか目にする機会がないと思います。本講座では液体窒素と液体ヘリウムを製造している極低温センターを見学するとともに、液化の原理や断熱技術、低温で発現する超伝導や超流動、熱電効果、核磁気共鳴などの現象を解説、観察、体験します。理科の授業に活用できそうな実験もご紹介します。</p>		
<p>講師名</p>	<p>仲間 隆男(極低温センター長)、宗本 久弥(極低温センター 技術専門職員)、辺土 正人(理学部物質地球科学科 准教授、極低温センター兼任)、與儀 護(理学部物質地球科学科准教授、極低温センター兼任) 前野 昌弘(理学部物質地球科学科 准教授)、眞榮平 孝裕(理学部物質地球科学科 教授)</p>		
<p>開催日時</p>	<p>8月19日(金) 13:30~16:30</p>		
<p>会場</p>	<p>琉球大学極低温センター</p>		
<p>定員</p>	<p>10名</p>	<p>受講対象者</p>	<p>理科教員および市民一般(高校理科程度の知識を要す)</p>
<p>受講料</p>	<p>無料</p>	<p>申込み期間</p>	<p>6月27日~8月15日</p>
<p>講義内容</p>	<p>講義と設備や実験の見学</p>		
<p>その他</p>	<p>■備考/日程について、次年度以降の開催の参考にしたいので、今回都合の悪い方は要望をお知らせいただくと幸いです。</p>		